

平成27年度
岩手県国際リニアコライダー推進協議会
事業報告書

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(1)啓発・普及事業

ア. 公開講演会等／イ. 学生向け講演会／ウ. その他(後援・協力等)

(2)調査・研究事業(先進地視察等)

(3)要望・提言活動

(4)産・学・官・関係機関との連携

(5)広報活動

(6)諸会議等

(7)会員加入状況



(1) 啓発・普及事業ーア. 公開講演会等

① ILC シンポジウム in 岩手 (県民集会) (参加者：約 300 名)

平成 27 年 7 月 2 日 (木) 14:00～17:30 於：盛岡グランドホテル

【第 1 部】講演会「ILC と地域の在り方を考える」

講師：岩手県立大学 学長 鈴木 厚人 氏

【第 2 部】パネルディスカッション「先端科学技術が拓く未来の世界」

コーディネーター：山下 了 氏 (ILC 戦略会議・議長)

パネリスト：岩渕 明 氏 (岩手大学・学長)

鈴木 厚人 氏 (岩手県立大学・学長)

高橋 真理子 氏 (朝日新聞社・編集委員)

【第 3 部】国際リニアコライダー実現に向けた県民決議

- ・講演会開催後、玉山副会長が決議文を朗読し、満場一致で採択された。

【ILC 実現に向けた懇談会】18:00～ 於：盛岡グランドホテル

- ・参加者：岩手県、市町村長、岩手県議会、市町村議会議長、大学関係者、行政関係者、推進協議会会員等、約 100 名
- ・内 容：谷村会長あいさつ・達増知事あいさつ・千葉県議会議長あいさつ
岩手大学 岩渕学長乾杯後、懇談



国際リニアコライダー実現に向けた県民決議

東北は今、東日本大震災津波からの一日も早い復興を目指して、懸命に取り組んでいます。人口急減・超高齢化という大きな課題とともに、早急に未来に向けた東北のビジョン・位置づけを明確にすることが不可欠となっております。

このような中、東北各県では加速器関連プロジェクトが計画されており、その中心となる日本初の大型国際プロジェクトとして国際リニアコライダー（ＩＬＣ）が実現すれば、東北が世界最先端の加速器研究拠点となり、我が国が標榜する「科学技術創造立国」を実現するとともに東北の創生に大きく寄与するものとなります。

ＩＬＣの実現によって、世界中から多くの人材が集まる「国際学術研究都市」が形成され、精密実験を支える先端技術も集積し、産業振興、雇用創出、人材育成、地域振興などに大きく寄与するとともに、定住・交流人口の増加による効果や国際観光の振興など東北の復興と真の国際化が一段と加速されることにつながるものであります。

子どもたちに夢を
若者たちに希望を
そして、地域とすべての人々に未来への期待を

よって岩手県民は、ＩＬＣの実現に向けて、産学官民一体となって「オールいわて」で東北の未来創造に力強くまい進するとともに、以下の事項について要望いたします。

- １． ＩＬＣの国内誘致の方針を早期に決定すること
- ２． 資金分担や研究参加に関する国際調整等をすみやかにすすめること

平成２７年７月２日
岩手県国際リニアコライダー推進協議会

② ILC シンポジウム「ILC の実現と地域社会の展望」(参加者：約 400 名)

平成 27 年 7 月 25 日(土) 13:30～16:30/於：奥州市文化会館 Z ホール

(※いわて ILC 加速器科学推進会議と共催)

【第 1 部】講演会「ILC の意義と国際研究機関のあり方」

講師：岩手県立大学 学長 鈴木 厚人 氏

【第 2 部】シンポジウム「ILC を中核とした地域社会のビジョン」

コーディネーター：吉岡 正和 氏(岩手大学・東北大学客員教授)

パネラー ・鈴木 厚人 氏(県立大学学長) ・戸田 公明 氏(大船渡市長)

・戸羽 太 氏(陸前高田市長) ・多田 欣一 氏(住田町長)

・高橋 由一 氏(金ヶ崎町長) ・小沢 昌記 氏(奥州市長)

③ 先端加速器科学技術推進シンポジウム 2015 in 東北(参加者：約 800 名)

平成 27 年 10 月 17 日(土) 13:30～16:30/於：奥州市文化会館 Z ホール

主催：いわて ILC 加速器科学推進会議/岩手県 ILC 推進協議会/東北 ILC 推進協議会

(一社) 国際経済政策調査会/ (一社) 先端加速器科学技術推進協議会

「加速器で解き明かす 4 つの謎」

講師：山内 正則 氏(高エネルギー加速器研究機構 機構長)

「ILC 計画の現状と将来に向けて」

講師：山下 了 氏(先端加速器科学技術推進協議会大型プロジェクト研究部会長)

「ILC が築く豊かな未来」

講師：増田 寛也 氏(日本創成会議座長)



(C) 胆江日日新聞



④ 「2016 基礎物理学ブレークスルー賞」受賞祝賀特別記念事業(参加者：約 420 名)

『特別記念講演会』

平成 28 年 2 月 8 日(月) 15:00～17:00/於：盛岡グランドホテル

「素粒子・宇宙・鈴木厚人先生」

講師：駒宮 幸男 氏(東京大学素粒子物理研究センター センター長)

「ILC 計画の現状と将来に向けて」

講師：山下 了 氏(ILC 戦略会議 議長)

「神岡の地でニュートリノを追う：そして ILC」

講師：鈴木 厚人 氏(岩手県立大学 学長)

『受賞祝賀会』

発起人代表あいさつ 谷村邦久岩手県 ILC 推進協議会会長

祝辞 達増 拓也岩手県知事

記念品・花束贈呈 谷藤 裕明岩手県市長会会長、林 晶子盛岡商工会議所女性会顧問

乾杯 田村 誠岩手県議会議長

中締 岩渕 明岩手大学学長

参加者：291 名



(1) 啓発・普及事業-I. 学生向け講演会

①「ドイツ マインツ大学 齋藤 武彦 教授」による巡回特別授業

・平成 27 年 5 月 31 日（日）～6 月 6 日（土）

盛岡市、奥州市、大船渡市、住田町、大槌町、釜石市、久慈市
小・中・高校等 16 講座

・平成 27 年 11 月 8 日（日）～11 月 14 日（土）

盛岡市、奥州市、北上市、久慈市、大槌町、大船渡市、陸前高田市、住田町
小・中・高校等 14 講座



②「先端科学教室 in いわて」(後援) (主催：岩手県)

平成 27 年 12 月 14 日（月）於：盛岡第一高校（対象：2 年生 279 名）

「加速器で迫る宇宙の謎～宇宙・素粒子・ILC～」

講師：山下 了 氏（ILC 戦略会議・議長）

(1) 啓発・普及事業・ウ・その他（後援・協力等）

① ILC 東京シンポジウム・スペシャルフードフェスタへの参加と協力

主催：先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、リニアコライダーコラボレーション

平成 27 年 4 月 22 日（水）

○『東京シンポジウム』 於：東京大学伊藤国際学術研究センター

谷村会長、廣田専務理事、猿川事務局長

メッセージ 塩谷 立（リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟幹事長）

基調講演 増田 寛也（日本創生会議 座長）

パネルディスカッション

モデレーター 村山 斉 （リニアコライダーコラボレーション副ディレクター）

パネリスト Joachim Mnich （ドイツ電子シンクロトロン研究所 理事）

Jonathan Bagger （TRIUMF 研究所 所長）

Lyn Evans （リニアコライダーコラボレーション ディレクター）

相原 博昭 （東京大学 副学長）

メッセージ 山内 正則 （高エネルギー加速器研究機構 機構長）

ILC 東京宣言

『国際リニアコライダーの実現を目指して』

2015年4月22日、東京大学・伊藤謝恩ホールにて開催された ILC 東京シンポジウムにおいて、リニアコライダーコラボレーション（LCC）とアジア・リニアコライダーワークショップ（ALCW2015）に世界各地から集った科学者は、国際リニアコライダー（ILC）を早期に実現すべき科学的正当性に関する我々の確信を示すことを目的に、この宣言を発表する。

1) ILC の素粒子物理学における役割は、誕生直後の宇宙を、極めて詳細に探求する事である。ILC での研究は、宇宙がどのように始まり、どのように進化して、今どのようにあるかを深く理解する為に、他の研究で置き換えることは出来ない無二のものであり、また必要不可欠なものである。我々科学者はILC の建設とそこで研究する事を切望している。

2) ILC が技術的に実現可能であることは、先に発表された技術設計報告書(TDR)で示されている。ILC 計画は、今後の工学設計段階を経た後、建設開始できる状況となっている。ILC 計画は、今や各国政府が関与し計画実施に向けた決断へと進んで行く段階にきている。これに関し、現在日本政府によりILC プロジェクトの評価が行われていることについて、我々は深く謝意を表する。

3) ILC計画は今までで最大規模の科学プロジェクトの一つであり、大型ハドロン衝突型加速器（LHC）計画と同規模のプロジェクトである。国際計画として ILC を実現する為には、各国間での費用や技術提供の分担を行う国際的な仕組みの構築が必要である。したがって、我々は各国政府間、各国財政当局間の協議を促進し、早急にこの目標を達成すべく努力していく。

LCC ディレクター リン・エバンス

LCC と ALCW2015 参加の科学者一同を代表して

○『スペシャルフードフェスタ』 於：ホテルニューオータニ

ILC の技術設計報告書 (TDR) の作成に携わった 48 カ国の料理を楽しみながら、ILC 実現に向けて、関係者の親睦を深めることが目的。

海外研究者・省庁、産学からの参加のほか米国をはじめとする 18 名の各国大使館公使等が参加された。日本からは議連、内閣府、文部科学省、経済産業省、外務省、国土交通省が参加、山内機構長をはじめ日本の研究者も多数参加。

当推進協議会では岩手県 ILC 科学推進室と連携し、岩手県産食材（日本酒、牛肉、お菓子など）を提供した。

②世界の素粒子物理研究所広報担当者・LC コミュニケーターの北上サイト視察への協力

平成 27 年 4 月 23 日（木）～24 日（金）／参加者：13 名

内容：視察に伴うサポートのほか、レセプション（世嬉の一）を主催した。

- ・ ILC の建設候補地（早麻山近景、砂鉄川、衝突点周辺等）
- ・ 北上サイトの生活環境（一ノ関駅周辺、磐井病院、奥州市内、国立天文台等）
- ・ 地元の盛り上がり（砂鉄川沿いの看板、ポスター見学等）
- ・ 重量物の陸揚げ港湾・被災地の状況（気仙沼港、陸前高田市）
- ・ 地域の食・伝統・文化（平泉世界遺産）
- ・ 広報担当者との意見交換（一関図書館、奥州宇宙遊学館（ILC サポート委員会））

③第 1 回加速器関連産業参入セミナー（後援）

平成 27 年 6 月 8 日（月）14:30～／於：ホテルルイズ／主催：いわて加速器関連産業研究会
「東経連加速器関連産業戦略ビジョン」

講師：西山 英作 氏（東経連ビジネスセンター センター長）

「加速器産業を日本の成長戦略に！」

講師：吉岡 正和 氏（東北大学・岩手大学 客員教授）

④第 6 回加速器科学連続セミナー

平成 27 年 6 月 23 日（火）15:00～／於：岩手大学 銀河ホール／主催：岩手大学

「世界の放射光施設の動向～稼働し始めた台湾 NSRRG/米国 BNL 放射光の例をふまえて～」

講師：北村 英男 氏（NEOMAX エンジニアリング・日立金属グループ技術顧問）

「東北放射光計画の現状とこれから～新しい光が拓く 科学技術と産業～」

講師：高田 昌樹 氏（東北大学多元物質科学研究所教授）

⑤第 20 回いわて希望チャンネル（ニコニコ生放送）

平成 27 年 6 月 24 日（水）／於：イオンタウン釜石

内容：岩手県の生放送番組中の ILC コーナーに会長メッセージを提供。

⑥みんなで学ぼう！ ILC～国際リニアコライダー～（イオンモール盛岡南等と共催）

平成 27 年 7 月 17 日（金）～19 日（日）／於：イオンモール盛岡南

7/17（金）「ILC について学べるパネル展」（～8/17 まで）、オープニングセレモニー

7/18（土）「親子で楽しめる!! ミヤモのエコマジックショー」

7/19（日）「専門家に聞く『ILC ってどんなもの?』」

講師：東北大学大学院准教授 佐貫 智行 氏

ほか、ILC オリジナル缶バッジをプレゼント（先着 1,000 名、中学生以下）

イオンモール盛岡南

みんなで学ぼう! ILC～国際リニアコライダー～ 7/17(金)～19(日)
イオンモール盛岡南 センターコート

北上山形が建設候補地となっている ILC～国際リニアコライダー～って? 最近よく聞く言葉だけれども、実際は何なの? 77 手間の謎を解明できる研究施設 ILC についてぜひ学んでみよう!

7/17(金) 11:00～
ILC について学べるパネル展
オープニングセレモニー
ILC について詳しく学べるパネル展を3日間センターコートにて開催
7/20(日)は3階パビリオン本館で開催(～8/17まで)

7/18(土) 14:00～
親子で楽しめる!!
エコマジック ミヤモの“エコマジックショー”
2015年3月「グッドライフアワード2015 環境大賞」受賞したミヤモマジックミヤモが、子供ではまだまだ知らない、大人にも知られる魔法が満載!! “魔法屋”を再現します。マジックの本意を楽しくも理解して下さい。

7/19(日) 14:00～
専門家に聞く!!
「ILC ってどんなもの?」
ILC について、専門家の先生が岩手のアイドル「ふじポン」と分かちやすく説明してくれます。質問も受付ます。ぜひ一緒に聞いてみましょう!!
講師：東北大学大学院准教授 佐貫 智行 氏

3日間で先着1,000名さま
ILCオリジナル缶バッジをプレゼント!!
中学生以下のお子様限定

岩手県立公園 世界遺産平泉PRキャラクター「ケロ平(ひら)」も来場予定!!
ILC を応援してケロ
来場日時 7/19(日) 14:00
おやめしに遊園地な雰囲気の中でお楽しみください。



(写真提供：「游悠」2015. 8. 11 号 vol. 327)

⑦第 7 回加速器科学連続セミナー

平成 27 年 7 月 22 日（水）15:00～／於：岩手大学 銀河ホール／主催：岩手大学

「ILC の国内外の情勢」 講師：山本 均 氏（東北大学大学院教授）

「グリーン ILC と木造施設」 講師：吉岡 正和 氏（岩手大学・東北大学客員教授）

「KES 工法と COOLWOOD・大型木造建築への道」

講師：安達 広幸 氏（(株) シェルター-KES 技術開発部取締役）

「地元材活用と太陽光利用」 講師：竹中 雅治 氏（登米森林組合総務課）

⑧岩手県工業技術センター公開デー「ILC 展示紹介コーナー」への協力

平成 27 年 10 月 5 日（土）／於：岩手県工業技術センター

内容：高エネルギー加速器研究機構（KEK）広報室の藤本 順平氏が ILC や加速器、素粒子について解説。来場した親子連れらが話を聞いて理解を深めた。

⑨「いわてフェスタ@MEGA WEB」における ILC・PR のための協力

平成 27 年 11 月 21 日（土）～23 日（月・祝）／於：MEGA WEB（東京都お台場）

内容：標記イベントに岩手県が ILC の PR ブースを出展するにあたり、周知用パネル・チラシ・ノベルティ（缶バッジ、クリアファイル）を提供。来場者約 10 万人。

⑩第8回加速器科学連続セミナー

平成28年1月21日(木) 15:00～／於：岩手大学 銀河ホール／主催：岩手大学
「中性子科学研究の現状」 講師：名古屋大学 特任教授 鬼柳 善明 氏
「中性子の産業応用と小型中性子源への期待」 講師：茨城県企画部技監 林 真琴 氏

⑪第2回加速器関連産業参入セミナー(後援)

平成28年1月27日(木) 13:30～／於：ホテル東日本／主催：いわて加速器関連産業研究会
「ILCの技術・機器等の現状と今後の開発課題」
講師：野村総合研究所 上席コンサルタント 北村 倫夫 氏
「加速器用電磁石開発及び参入事例」
講師：元(株)トーキン・マシナリー 代表取締役 田中 秀之 氏
「超伝導加速空洞電解研磨装置の開発事例」
講師：マルイ鍍金工業株式会社 代表取締役 井田 義明 氏
「AAAの取り組みとILCに関するものづくり」
講師：(一社)先端加速器科学技術推進協議会(AAA)
事務局 松岡 雅則 氏／広報部 吉住 浩之 氏

(2) 調査・研究事業(先進地視察等)

■イノベーション・経済波及効果調査委員会

①第1回イノベーション・経済波及効果調査委員会

平成28年2月8日(月) 13:30～14:00／於：盛岡グランドホテル
議事 (1) イノベーション・経済波及効果調査委員会の設置について
(2) 委員長・副委員長の選任について
(3) 作業部会長等の選任について
(4) 調査項目について
設立目的：ILCの実現による多面的な経済波及効果の算定に関する検討を行い、必要な意見および助言を行うことを目的に組織。
委員長 鈴木 厚人 岩手県立大学 学長
副委員長 玉山 哲 岩手県 ILC 推進協議会 副会長
委員 山下 了 東京大学素粒子物理国際研究センター 特任教授
委員 吉岡 正和 東北大学・岩手大学 客員教授
委員 成田 晋也 岩手大学工学部 教授
委員 佐々木 淳 岩手県政策地域部科学 ILC 推進室 室長
委員 廣田 淳 岩手県商工会議所連合会 専務理事
※作業部会長に山下特任教授、副部会長に成田教授を選任した。

■イノベーション・経済波及効果調査・作業部会

メンバー 山下部会長、成田副部会長、KEK、AAA、東北 ILC 推進協議会、岩手県、岩手県 ILC 推進協議会

①第1回作業部会 平成28年2月26日(金)／東京(猿川事務局長)

②第2回作業部会 平成28年3月7日(月)／電話会議

- ③第3回作業部会 平成28年3月15日（火）／電話会議
④第4回作業部会 平成28年3月18日（金）／仙台（猿川事務局長）
⑤第5回作業部会 平成28年3月25日（金）／電話会議

■その他

①免税店申請支援に関する説明会

平成27年10月27日（火）／於：ペリーノホテル一関

平成27年10月28日（水）／於：盛岡商工会議所

内容：復興庁・岩手県商工会議所連合会・岩手県商工会連合会の主催による標記説明会の開催に伴い、外国人研究者受入等との関連性から協議会関係者へ周知・参加要請した。

②KEK視察会

平成27年11月26日（木）／主催：いわて加速器関連産業研究会…猿川事務局長

内容：C01棟（STF新棟）等の視察

③日米欧3大高エネルギー物理学研究拠点トップとICFA委員長記者会見

平成28年2月26日（金）／於：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター

内容：高エネルギー物理学の3大拠点であるCERN、FNAL、KEK、それぞれのトップによる、これまでの研究成果や国際協力に基づく今後の研究計画等に関する説明を聴講した。



【東京支社】世界の素粒子物理学研究所のトップらでつくる国際将来加速器委員会（ICFA）のヨアヒム・ムニック委員長ら日米欧の主要メンバーは26日、東京都内で記者会見し、国際リニアコライダー（ILC）の実現を目指して専門の小委員会を設置すると発表した。岩手、宮城両県にまたがる北上山地（北上高地）での建設を想定し、技術的

な課題を検討していく。世界の有力研究所の新たな連携の動きが、日本の誘致決断や国際協力の構築に弾みを付けるか注目される。

会見はICFAの総会に合わせて開かれ、ムニック氏（ドイツ電子シンクロトロン、DESY）と欧州合同原子核研究所（スイス、CERN）のファビオラ・ジャノッティ所長、米フェルミ国立加速器研究所のナイジェル・ロッキヤー所長、高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市、KEK）の山内正則機構長の4人が出席した。

ムニック氏は「ICFAは日米欧だけでなくロシアや中国、韓国なども参加し、彼らも学術的な理由でILCを支援している。われわれと同じ熱い気持ちで賛成している」と述べ、実現に意欲を示した。

【写真＝国際将来加速器委員会にILC実現に向けた小委員会を設置すると記者会見で発表する日米欧の主要メンバー＝26日、東京都内】

（2016.02.27 岩手日報）

(3) 要望・提言活動

①大島理森衆議院議長（前復興加速化本部長）・鈴木俊一副本部長への復興・ILC 要望

平成 27 年 4 月 22 日（水）…谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

②東北 ILC 推進協議会との合同要望

平成 27 年 5 月 27 日（水）…玉山副会長、猿川事務局長

- ・河村 建夫（ILC 議連会長）
- ・額賀福志郎（自民党復興加速化本部長）
- ・文部科学省（藤井副大臣）



③地元選出国會議員等への要望

平成 27 年 6 月 22 日（月）～23 日（火）

…谷村会長、玉山副会長、県内会頭、廣田専務理事、猿川事務局長

- ・地元選出国會議員
- ・河村 建夫（ILC 議連会長）
- ・額賀福志郎（自民党復興加速化本部長）
- ・復興庁（長嶋副大臣）
- ・中小企業庁（北川長官）
- ・文部科学省（土屋文部科学審議官）



④関係省庁、河村 ILC 議連会長訪問

平成 27 年 9 月 16 日（水）…谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

- ・河村 建夫（ILC 議連会長）
- ・文部科学省（土屋文部科学省事務次官、戸谷文部科学審議官）
- ・中小企業庁（豊永長官）
- ・資源エネルギー庁（藤木省エネルギー・新エネルギー部長）

⑤増田寛也先生、山下 了先生との情報交換会

平成 27 年 9 月 16 日（水）…谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

⑥吉岡正和先生との情報交換会

平成 27 年 11 月 10 日（火）…廣田専務理事、猿川事務局長

⑦マインツ大・齋藤武彦先生との情報交換会

平成 27 年 11 月 11 日（水）…玉山副会長、猿川事務局長、岩手県科学 ILC 推進室

⑧文部科学省・中小企業庁訪問

平成 27 年 11 月 13 日（金）…猿川事務局長

⑨在札幌米国領事館・領事 ジャスティン・トール氏との情報交換

平成 28 年 1 月 21 日（木）…玉山副会長、猿川事務局長

⑩リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟訪米（第4次訪米）における帯同活動

平成28年2月10日（水）～2月15日（月）…谷村会長、玉山副会長、猿川事務局長

・『日米先端科学技術フォーラム』

会場：11日（木）16時～19時 米国下院議員会館（レイバーン）

12日（金）13時～17時 ハドソン研究所

内容：本フォーラムは、米国国会議員、政府関係者、研究者に対し、ILCの意義と日本におけるILC実現にむけた活動状況への理解を深めることを目的としている。米国には、いわゆる日米の議連というものがないことから、日米議連と同等の位置づけをめざし初めて開催されたもので、今後継続開催することで、米国との国際協調の進展を図っていくもの。



■訪米メンバー

塩谷 立	衆議院議員（議員連盟・幹事長）
鈴木 俊一	衆議院議員（議員連盟・副会長）
大塚 拓	衆議院議員（議員連盟・事務局次長）
生川 浩史	文部科学省審議官
鈴木 厚人	岩手県立大学学長
相原 博昭	東京大学副学長
山下 了	東京大学特任教授
田辺 友彦	東京大学特任助教
山本 均	東北大学教授
高橋 徹	広島大学准教授
吉岡 瑞樹	九州大学准教授
角南 篤	政策研究大学院大学教授
菅原 寛考	沖縄科学技術大学院大学特別教授（元 KEK 機構長）
野崎 光昭	日本学術振興会 ワシントンセンター長
岡田 安弘	高エネルギー加速器研究機構（KEK）理事
吉田 健一	高エネルギー加速器研究機構（KEK）
西山 淳一	（一社）先端加速器科学技術推進協議会上級顧問
松岡 雅則	（一社）先端加速器科学技術推進協議会事務局長
高橋 宏明	東北 ILC 推進協議会会長
大江 修	（一社）東北経済連合会専務理事
佐々木 淳	岩手県政策地域部科学 ILC 推進室室長
谷村 邦久	岩手県国際リニアコライダー推進協議会会長
玉山 哲	岩手県国際リニアコライダー推進協議会副会長
猿川 毅	岩手県国際リニアコライダー推進協議会事務局長
熊谷 宏彰	（株）岩手日報社報道部次長



US-Japan Forum on Science and Technology Strategy における 谷村会長メッセージ

(復興支援の御礼)

高橋東北 ILC 推進協議会会長さんから東日本大震災時における米軍の復旧支援活動に対する感謝が述べられましたが、私からも被災地岩手県民を代表して、米国および米国の国民の皆様へ心からの感謝を申し上げます。

被災地の復興は、いまだ道半ばではありますが、岩手県におきましては、今年度、冬と夏の国民体育大会を開催するなど、日本全国に震災からの復興にむけて頑張っている姿を発信しております。

(新たな東北の象徴 ILC)

次に新たな東北の象徴 ILC であります。

岩手県 ILC 推進協議会は、商工会議所をはじめとする経済 5 団体が推進役となっている団体です。ILC 誘致実現にむけて、産・学・官・民が一丸となった組織として 2012 年に設立し、国への要望活動や講演会等による普及・啓発活動を主な事業としております。

本日お手許に盛岡商工会議所が策定した提言書をお配りしております。このピンクの本でございます。この提言書は、民間の発想とスピード感を持って可能な限り多くの課題について検討を加え、めざすべき地方都市の姿としてまとめたものであります。

内容は、

未来にむけてグローバルな都市をめざそう！

～世界から集まってくる人々が笑顔あふれる暮らしがおくられるように、世界に岩手・盛岡を発信していこう～ として 8 つの提言を行いました。

もちろん提言として終わらせるのではなく、ただちに様々な活動を開始しております。

例えば、サイン、案内板の整備など外国人研究者等が暮らしやすい環境あるいは、育児・教育から医療など生活全般にわたる受入れ態勢の整備に取り組んでおります。

また、産学官連携組織である「岩手県加速器関連産業研究会」が昨年 6 月に発足し、加速器産業への参入を目指した取組みも開始いたしました。

さらに、資料として、日本全国だけでなく世界に向けて情報発信しているホームページ「WHAT IS THE ILC?」という冊子も用意いたしました。また子供から大人まで日頃から ILC への理解を深め、自らも学ぶ機会としてポスター展示会や特別授業、セミナーの開催の様子を紹介しているスライドもございます。

日本の唯一の ILC 候補地である北上サイトがある岩手県の様子をご覧いただくための DVD もお持ちしました。岩手県の歴史や風土、文化を紹介したパンフレット「Iwate AtoZ」と併せて、後ほど是非ご覧いただきたいと思います。

(ILC の意義)

ILC の意義に関してであります。

私たちは、ILC という世界的なプロジェクトの実現をめざし、以下のとおり3つの大きな道をまい進しております。即ち

- ①子どもたちに夢を
 - ②若者たちに希望を
 - ③地域とすべての人々に未来への期待を
- の3つであります。

そして ILC の立地によって産業のイノベーションをはかり、国際交流拠点都市を実現することによって、世界文化遺産平泉の理念である恒久的な平和を望んでおります。

(最後に)

むすびに、ここにご出席の皆さん！

ILC を東北の地で実現することは、世界から寄せられた震災の支援に対し科学面で恩返し・貢献することにつながります。ILC が東北の人々に夢を与え、世界とつながる新しい東北の核となり、その建設を熱望する声が日に日に高まっております。東北そして岩手は、美しい自然、豊かな文化、美味しい食材、そしてホスピタリティにあふれた笑顔で皆様をお迎えいたします。

一日も早い北上山地への ILC の立地実現にご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

⑪ ILC 超党派議員連盟等訪問

平成 28 年 3 月 3 日（水）…谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

- ・河村 建夫（議員連盟・会長）
- ・鈴木 俊一（議員連盟・副会長）
- ・塩谷 立（議員連盟・幹事長）
- ・大塚 拓（議員連盟・事務局次長）
- ・中小企業庁、文部科学省

⑫ リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟総会出席

平成 28 年 3 月 4 日（木）…谷村会長、猿川事務局長

(4) 産・学・官・関係機関との連携

■地元大学との連携

①三大学学長との懇談会

平成 27 年 5 月 11 日（月）／於：ホテルメトロポリタン盛岡本館

…谷村会長、玉山副会長、廣田専務理事、猿川事務局長

岩手大学 岩淵学長、岩手県立大学 鈴木学長、岩手医科大学 小川学長

■東北 ILC 推進協議会との連携

①総会

平成 27 年 4 月 13 日（月）／於：仙台ウェスティンホテル

…谷村会長、玉山副会長、齋藤理事、廣田専務理事、猿川事務局長

②第1回幹事会

平成27年10月15日（木）／於：東経連…事務局

議事（1）東北 ILC 設立準備室（仮称）の設立検討について

報告（1）ILC に関する活動の状況について

（2）ILC を契機とした東北・北上エリアまちづくりランドデザイン検討委員会について

③第2回幹事会

平成27年10月29日（木）／於：東経連…猿川事務局長

議事（1）東北 ILC 設立準備室（仮称）の役割、取り組み事項等について

（2）東北 ILC 推進協議会の今後の予定について

■岩手県政策地域部科学 ILC 推進室との連携

毎月1回、相互の活動状況の報告や今後の活動計画等について意見交換を実施。

（5）広報活動

①「ドイツ マインツ大学 齋藤 武彦 教授」による巡回特別授業に係るグッズの提供

5/31～6/6、11/8～11/14 の間に行われた標記授業の聴講生徒等へのプレゼントとして標準理論クリアファイル約2,000枚を提供した。

②PR用うちわ・ウェットティッシュの作成・配布

うちわ5,000本、ウェットティッシュ2,000個を作成し、「さんさ踊り」にて観光客等に配布した。（岩手県と推進協議会で半分ずつ配布）

③英語版 HP のリニューアル

海外への情報発信をタイムリーかつ内容を充実させるため、英語版 HP をリニューアルした。岩手県、奥州市、一関市の広報担当・ILC 推進員等がそれぞれの団体や地域での取り組みを随時発信している。



④ ILC 英語版広報紙「THE KITAKAMI TIMES」の創刊（英語版 WEB 内）

海外の研究者等へ ILC の候補地である北上サイトや ILC 実現に向けた地域の取組等を英語版の広報紙としてウェブ上に掲載し、北上サイトに対する理解や機運醸成につなげている。



⑤ PR 年賀状の作成

岩手県印刷工業組合・盛岡広域振興局・盛岡中央郵便局と協力し、28,000 枚を印刷・販売した。



⑥ ピンバッジの作成・配布

要望活動やイベント等での PR ノベルティとして、ピンバッジ 3,000 個を作成・配布した。
（※同様のものを奥州市でも 2,500 個作成・配布）



⑦ イメージキャラクター「ILC そばっち」の作成

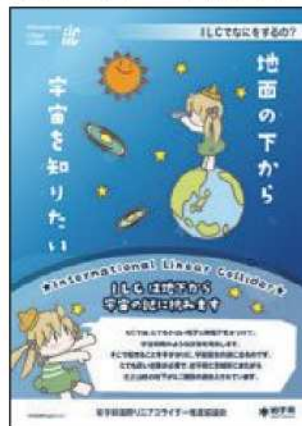
ILC への親しみやすさや岩手県が候補地であることのイメージ醸成のため作成した。今後、各種印刷物、ノベルティ・WEB 等に活用予定。



⑧周知用ポスター（パネル入り）の作成

その場で ILC の概要が理解できるような 3 枚 1 組のポスターを作成した。

推進協、一関市、奥州市、盛岡市、県庁×2、振興局×4 計 10 か所に設置。



⑨地形ジオラマの作成

対外イベントでの展示等を目的に作成した。

縦 85 cm × 横 57 cm。



⑩タクシー用普及啓発シールシールの作成

盛岡広域振興局と協力して、タクシー用の普及啓発シール 1,200 枚を作成し、タクシー会社へ配布した。



(6) 諸会議等

■役員会

①第 1 回役員会

平成 27 年 6 月 11 日（木）13:15～13:55／於：ホテルメトロポリタン盛岡本館

議事 (1) 平成 26 年度事業報告書並びに収支決算書の承認について

(2) 平成 27 年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案) の決定について

(3) 県民集会決議（案）について

報告 (1) 岩手県の平成 27 年度主な取り組みについて

(2) 5 月 27 日東北 ILC 推進協議会による要望活動について

※終了後、山下先生による講演会を開催

演題 『ILC 計画の進捗状況・未来に向けて』

②第2回役員会

平成27年11月30日（月）13:00～13:55／於：ホテルメトロポリタン盛岡本館

議事（1）平成27年度事業の進捗状況等について

報告（1）岩手県の取り組み状況、今後の予定等について

（2）東北 ILC 推進協議会の取り組み状況、今後の予定等について

※役員会前に山下先生による講演会を開催

演題 『ILC 計画の現状と将来に向けて』

■幹事会

①第1回幹事会

平成27年5月21日（木）11:00～12:00／於：盛岡商工会議所

議事（1）役員会提出議題について

②第2回幹事会

平成28年1月8日（金）11:00～12:00／於：盛岡商工会議所

議事（1）平成27年度の予算の執行状況について

（2）鈴木厚人学長「基礎物理学ブレークスルー賞」受賞祝賀会事業について

（3）AAA 主催・訪米事業等について

（7）会員加入状況（平成28年3月31日現在）

法人・団体会員 428 会員／個人会員 66 会員／合計 494 会員（※）

（※）2 年間会費未納の会員は、退会の申し出があったものとしております。

【参考】市町村別の加入状況（市町村コード順）

地域		法人・団体	個人	計	地域		法人・団体	個人	計
県内	盛岡市	159	25	184	県内	平泉町	3	2	5
	宮古市	4	1	5		住田町	2	0	2
	大船渡市	24	0	24		大槌町	1	0	1
	花巻市	24	3	27		山田町	2	0	2
	北上市	36	9	45		岩泉町	2	0	2
	久慈市	7	2	9		田野畑村	2	0	2
	遠野市	3	2	5		普代村	2	0	2
	一関市	37	6	43		軽米町	1	0	1
	陸前高田市	3	1	4		野田村	2	0	2
	釜石市	13	2	15		九戸村	1	0	1
	二戸市	3	0	3		洋野町	2	0	2
	八幡平市	3	0	3		一戸町	2	0	2
	奥州市	46	7	53	宮城県	仙台市	4	2	6
	滝沢市	4	1	5		気仙沼市	1	0	1
	雫石町	4	0	4		富谷町	1	0	1
	葛巻町	2	0	2		大衡村	1	0	1
	岩手町	2	0	2	秋田県	横手市	0	1	1
	紫波町	1	0	1	茨城県	日立市	0	1	1
	矢巾町	17	1	18	東京都	中央区	1	0	1
	西和賀町	2	0	2	神奈川県	横須賀市	1	0	1
	金ヶ崎町	3	0	3	合計		428	66	494